

「マルセイユより」

在マルセイユ日本国総領事館

総領事 村田優久夫

無事ご帰国の由何よりです。この度のご公演、大変感動しました。コロナもあり、私の任期中には能楽公演会はないものと思っていました。素晴らしい能楽を本物の能舞台で、中秋の名月が照らす中、熊本市の協力によって造成された日本庭園を借景としながら鑑賞できたのは、当地赴任の中で最高の思い出になりました。

また、数々の記念の品をいただきありがとうございます。大島さんの扇は公邸で飾らせていただきます。また、丹秀先生のご本は先生の願いを改めて思い起こしてくれました。十七年前に一度お会いしただけ（まさしく一期一会ですね）ですが、先生の熱い思いをご子息の了一样が引き継ぎ、そしてお孫さんの祐一さんも引き継がれることを思うと、志があれば少しづつでも動かしていけるのだと感じました。まずは二年後の巡回ワークショップとエックスでの公演が実現できるように尽力したいと思います。

今回、マタロン真希子さんが中心となって能のシンポジウムを日仏研究者を交えて行ったことが大変大きなインパクトを与えたと思います。研究者を中心としながらも、彼らを通じて能に関心を有す市民を糾合していけると思います。

エックス、フランスだけでなく、欧州中の能の愛好者が狩野丹秀記念能楽堂に集まることは夢ではないと思います。二年後に欧州全土からエックスに集まることは大きな意義があります。秋の本格的な活動が大成されることを祈りつつ、またお会いできる日を楽しみにしております。



能「羽衣」シテ 大島衣恵 ワキ 有松遼一  
2022年9月10日 狩野丹秀記念能楽堂(サン・ミトル公園内)

## 南フランス（エクスマンプロバンス） 喜多流能公演 随記

有松有里

ずっと観てみたかった海外公演、初めて拝見しました。お客様の反応が本当に素晴らしく、これほどまでに人気で、かつ集中して観てくださるものかと驚きました。

特に二日目のお客様の集中力はものすごく、「日本の珍しいものを見る」という感じではなく、みなさんが能の世界に引き込まれて見入っていたのを実感しました。こんな見所にいさせてもらえて、大変幸せでした。色々ご迷惑をおかけしたかと思いますが、ありがとうございました。

この度の旅行の写真を見返しています。ワークショップも良かったけど、やっぱり能舞台で能を観るといのは格別ですね。これがフランスで体験できている・・・「毎年この月にはエクスの能舞台で能が観られる」というのが定着できたら、絶対にフランス中から能を観に来てくれると思います。準備や資金集めなど本当に大変と思いますが、そうなることを強く願います！

今回は「能」という芸能のすごさを肌で感じて震えました。言葉や歴史や背景知識がわからなくても、あの世のものをこの世の舞台に現れさせ、舞台上で表現するという『能という舞台芸術はパフォーマンスアートとして世界最高峰なんだ』と心から実感しました。こんなにすごい芸能だったんだと、改めて感動しています。

無理矢理お邪魔してしまいましたが、大変貴重な機会をいただきました。人生観が変わりそうです。本当にありがとうございます。



狩野丹秀記念能楽堂（サン・ミトル公園内）開演時

九月五日から十二日の一週間、南フランスのエクスマン・プロヴァンス市へ能楽公演ツアーに行って参りました。三年ぶりの海外公演、そして故・狩野琇鵬先生が寄贈なさったエクスマンの能舞台では七年ぶりの公演ということもあって、現地の皆様に熱心に歓迎して頂き、大変実り多い充実したツアーになりました。連日のハードスケジュールでしたが無事にすべてのプログラムを終えることができ、また能楽団十四名揃って元気に帰国することができて安堵しています。今回の南仏公演にお力添えくださいました皆様、ご同行くださいました能楽師の皆様にご心より御礼申し上げます。

二〇二二年九月十六日 記

大島衣恵